

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
機械工学概論	前期	木	4	1時限 9:10~10:50	若干名
工業法規		木	4		
環境計量 I		月	5		
生態環境科学		木	1		
生活の科学		木	4		
仏教の歴史と思想		火	1	2時限 10:55~12:35	
現代経済論		水	4		
宇宙の科学		金	3	3時限 13:20~15:00	
臨床心理学		水	3		
社会臨床心理学		金	3	4時限 15:05~16:45	
				5時限 16:50~18:30	

※各科目とも授業は14回の予定です。

※授業は4月8日(月)から開始します。一部変則な取扱いがありますので注意してください。

(2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市普濟寺1690

JR高崎線岡部駅下車 無料スクールバス乗車又は徒歩(15分)

自家用車による通学可(駐車場無料)

各地区からの無料スクールバス案内

<http://www.sit.ac.jp/access/>



関越道利用の場合

関越道花園インター(熊谷・深谷方面)出口から国道140号線バイパスを直進し(3.7km約6分)大きな交差点(大学の看板あり)を左折します。道なりに直進(5.0km約7分)5つ目の交差点(大学の看板あり)を右折し直進(2.0km約2分)してください。およそ大学まで17分程度で到着します。

2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円。
 ※受講科目決定後に、振込にて納入いただきます。
 ※一旦納入された受講料は、お返しできませんのでご注意ください。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 受付期間 平成31年2月1日(金)～平成31年3月15日(金) 必着
- (2) 申込先
 〒369-0293
 埼玉県深谷市普濟寺1690
 埼玉工業大学 教務課 リカレント係
 TEL: 048-585-6813 FAX: 048-585-5939
 E-mail: kyomu@sit.ac.jp
- (3) 申込方法
 はがき、FAX、E-mailのいずれかにより、以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。
 ①郵便番号・住所
 ②氏名(フリガナ)
 ③年齢(平成31年4月1日現在)・性別
 ④電話番号
 ⑤受講希望科目(何科目でも可)
- (4) 選抜方法
 定員を超える申込みがあった場合は、先着順により受講者を決定します。
 受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

No	科目名(担当教員)	概要
1	機械工学概論 (長谷亜蘭 准教授)	“機械”と一言でいっても、機械の中にはとても多くの技術が詰まっている。その技術分野も力学、材料、機械要素、熱・流体、設計製図、ものづくり、計測・制御、電気・電子などと幅広い。これから機械工学科の専門科目を学習していくうえで、この機械工学概論で学習する各分野の幅広い基礎知識はとても有用である。本科目では、機械工学科で専門分野を学ぶ前段階として、各分野の基礎のきそについてわかりやすく解説する。

2	<p>工業法規 (河田直樹 准教授)</p>	<p>知的財産権を中心とする工業分野の様々な法規の解説と、知的財産権のうち、特許、意匠、商標の出願方法の演習からなる講義を展開する。</p> <p>例えば、昨今の IoT や AI の普及による様々な技術革新の流れの中で特許を取得することは、多くのビジネスチャンスを生み出すきっかけとなっている。工業法規を学ぶことで、特許などの権利獲得までの流れとコツをつかみ、変革していく社会において将来の糧となれば幸いである。</p>
3	<p>環境計量 I (田中邦幸 講師)</p>	<p>地球環境問題が深刻化しつつある状況下、環境に係わる計量管理の重要性が社会的に強く認識されている。本講では、「環境計量士」(濃度関係) 国家資格の取得希望者を対象に、計量関係法規、環境関係法規、計量管理概論について演習を交えた試験対策用の講義を行う。</p>
4	<p>生態環境科学 (秋田祐介 講師 秦田勇二 教授 本郷照久 准教授)</p>	<p>我々人間を含めたあらゆる生物を取りまく自然環境を「生態」といいます。本講義では、陸上や海洋といった生態環境に関する問題や利用方法を各論的に紹介し、生態環境の改善にむけた科学的アプローチについて考察します。第一部では、主に陸上植物の生態やその利用例について紹介します。第二部では、海洋の生態やその利用法について解説します。第三部では、バイオマスの利用法など、環境の負担軽減にむけた研究について解説します。</p>
5	<p>生活の科学 (松浦宏昭 准教授 田中睦生 教授)</p>	<p>我々の生活は、さまざまな科学技術の進歩により支えられてきた。しかし、近年では、地球環境・生活環境・社会情勢の変化により、さまざまな問題点も浮かび上がってきた。本講義では、快適な生活をおくるための健康科学、身近な生活の中での炭素材料に着目した科学技術、エネルギー問題と次世代新型エネルギーに焦点をあて、身近な生活環境を科学的視点から捉えられる素養を身に着けることを目的とする。</p>
6	<p>仏教の歴史と思想 (宮井里佳 教授)</p>	<p>インドにおいてどのように仏教が生まれ、発展したのか。そして異文化の中国や日本などに伝来し、どのように変化して受容されたのか。本講義では、インドから日本の仏教思想史を概観する。</p>

7	<p>現代経済論 (小寺昇二 教授)</p>	<p>そもそもなぜ「経済」というものが出来てきたのか？から解きほぐし、身の回りにある経済現象全般について、本質的な仕組みを学んでいくことにより、経済(学)的な物の見方を学んでいく。各自が持参するPCまたはスマホでネット検索を行いながら授業を進行させる。</p>
8	<p>宇宙の科学 (高橋広治 教授)</p>	<p>宇宙の構造と進化を科学的に理解することを目標として、宇宙科学諸分野における重要事項を系統的に解説する。具体的には、太陽系から出発して、恒星の世界、銀河の世界、そして宇宙全体の歴史と進化へと話を進める。主に文科系の学生を対象とする。</p>
9	<p>臨床心理学 (袈岩秀章 教授)</p>	<p>臨床心理学の授業では、臨床心理学の成立の歴史をたどりながら、主要3理論について学ぶ。また臨床心理学が対象とする人格の概念とその発達形成について学ぶ。このほかよくとりあげられる心理療法などについてもふれていく。疾病論や障害論はあまり取り扱わない。</p>
10	<p>社会臨床心理学 (友田貴子 教授)</p>	<p>社会心理学で扱われる対人的要因が、臨床心理学で扱われる諸問題、すなわち感情や行動の問題の発生・持続に影響を及ぼしており、その診断や治療においても大きな要因を果たしている。本講義では、社会心理学と臨床心理学のインターフェイスという観点から、帰属理論、ソーシャル・サポート、自己開示のような社会心理学的要因とメンタル・ヘルスの関係について概観する。</p>